

経 済 水 道 委 員 会
説 明 資 料

令和7年3月14日

上 下 水 道 局

目 次

＜水道事業会計＞

	ページ
1 水道の水需要予測、給水実績及び河川ごとの給水可能量について……………	1
2 水道の水源施設建設負担金について……………	2
3 水道スマートメータについて……………	3
4 インターネットを活用した使用水量等のお知らせサービスについて……………	4

＜工業用水道事業会計＞

5 工業用水道の水需要予測、給水実績及び河川ごとの給水可能量について……………	5
6 工業用水道の水源施設建設負担金について……………	6

＜下水道事業会計＞

7 主な下水道未整備地区における下水道人口普及率の推移について……………	7
8 主な浸水対策事業について……………	8

＜共 通＞

9 災害情報システムについて……………	9
---------------------	---

1 水道の水需要予測、給水実績及び河川ごとの給水可能量について

(1) 水需要予測

(単位 万 m^3 /日)

目 標 年 次	27年度
一日最大給水量	124

(2) 給水実績

ア 一日最大給水量 (単位 万 m^3 /日)

区 分	5年度	6年度見込
一日最大給水量	79.3	80.1

イ 年間給水量 (単位 万 m^3 /年)

区 分	5年	6年
年 間 給 水 量	26,987	27,167

(注) 1月1日から12月31日までの集計値

(3) 河川ごとの給水可能量

(単位 万 m^3 /日)

区 分	木曽川	長良川	揖斐川	計
水利権の給水可能量	160.6	16.1	8.0	184.7
10年に1回程度の 渇水年の給水可能量	106.3	12.1	5.7	124.1
平成6年渇水相当の 給 水 可 能 量	81.6	4.8	3.0	89.4

2 水道の水源施設建設負担金について

(単位 百万円)

区 分	～6年度	7年度	8年度～
揖 斐 川	35,654 (4,064)	1,067 (335)	15,258 (4,801)
徳山ダム	35,437 (4,064)	1,027 (323)	5,133 (1,615)
木曽川水系 連絡導水路	217	40 (12)	10,126 (3,186)

(注1) ()内は一般会計出資金の額

(注2) 端数処理の都合上、内訳の合計と計は必ずしも一致しない。

3 水道スマートメータについて

(1) 中区における実証試験の概要

区 分	内 容
目 的	通信品質の評価 ・初回データ取得率 ・バッテリーの持続性確認 付加価値サービスの検証 ・使用水量の見える化 ・漏水の早期検知 ・じゃ口閉め忘れ確認
実証期間	令和5年度～令和7年度
通信方式	電力スマートメータを活用した多段中継方式
対 象	中心市街地における集合住宅及び戸建住宅等

(2) これまでの実証試験の成果

- ・通信品質の確認
- ・バッテリーの持続性

(3) 導入にかかる課題

- ・検針困難箇所における通信品質の確認
- ・導入コスト
- ・規格の統一化
- ・運用コスト

4 インターネットを活用した使用水量等のお知らせサービスについて

(1) 概要

お客さまがパソコンやスマートフォンを用いて、使用水量等を確認することができるサービス

(2) 主なサービス内容

区 分	内 容
照 会 機 能	・使用水量 ・上下水道料金 ・支払状況
お知らせ機能	・水道ご使用量のお知らせ（検針結果） ・口座振替・クレジットカード登録完了のお知らせ ・各種お知らせ（詐欺に注意、イベント告知等）
申 込 機 能	・水道の使用開始・中止 ・請求先変更 ・口座振替・クレジットカード登録

(3) 導入時期

令和8年度

5 工業用水道の水需要予測、給水実績及び河川ごとの給水可能量について

(1) 水需要予測

(単位 $\text{m}^3/\text{日}$)

目 標 年 次	27年度
給 水 量	97,000

(2) 給水実績

(単位 $\text{m}^3/\text{日}$)

区 分	5年度	6年度見込
一日平均給水量	62,949	63,100

(3) 河川ごとの給水可能量

(単位 $\text{m}^3/\text{日}$)

区 分	庄内川	揖斐川	計
水利権の 給水可能量	93,000	56,000	149,000

(注1) 庄内川からの取水は、かんがい期に限られる等の課題がある。

(注2) その他の水源として、河川の他に下水処理水等がある。

6 工業用水道の水源施設建設負担金について

(単位 百万円)

区 分	～6年度	7年度	8年度～
揖斐川	11,030 (1,963)	28 (8)	7,827 (2,348)
徳山ダム	10,932 (1,934)	—	—
木曽川水系 連絡導水路	99 (30)	28 (8)	7,827 (2,348)

(注1) ()内は一般会計出資金の額

(注2) 端数処理の都合上、内訳の合計と計は必ずしも一致しない。

7 主な下水道未整備地区における下水道人口普及率の推移について

(単位 %)

区 分	5 年度	6 年度見込	7 年度予定
中川区・港区の 庄内川西部地区	97.8	98.2	98.7
守山区の 志段味地区	79.5	79.8	80.1
緑区 一部地区	99.4	99.4	99.5

(注) 緑区には未整備地区が点在しているため、区分は「緑区の一部地区」としているが、人口普及率は緑区全体のものを表示している。

8 主な浸水対策事業について

区 分	整 備 内 容	整備地域・施設
下 水 管	管 き よ の 増 強	六郷北、庄内、中川運河上流、 八熊、明德、港楽、 山崎川右岸下流
	雨水調整池の整備	新道第2、泰明
ポンプ所	雨水ポンプの増強	落合、岩塚、千年、大手、 内浜、笠寺、山崎、川北、 六条、鳴海、菅田
	雨水ポンプ所の改築	名駅前、当知

9 災害情報システムについて

(1) 取り扱う主な情報

区 分	内 容
被害状況	・建物、施設及び管路等の被害 ・断水及び下水流下機能
応急給水	・応急給水施設の開設状況 ・応急給水拠点への給水車の対応状況
応急復旧	・建物、施設及び管路等の応急復旧
リソース	・局職員の配備情報 ・他都市応援事業体情報 ・他都市応援事業体も含めた給水車情報

(2) 主な処理機能

区 分	内 容
収 集	・他システムが保有する情報の自動登録 ・各種登録情報の自動集計
共 有	・取り扱う情報の可視化 ・私有スマートフォンを含めた各種デバイスでの接続

(3) 主な導入効果

- ・集計等の事務作業に要する時間及び人的リソースの削減
- ・被害状況に応じた人的リソースの再配分の適正化
- ・同一情報の共有による復旧作業の効率化
- ・地図上で重ね合わせた各種情報による上下一体の復旧支援
- ・リアルタイムな情報共有等による意思決定の迅速化

(4) 完成予定

令和9年2月

